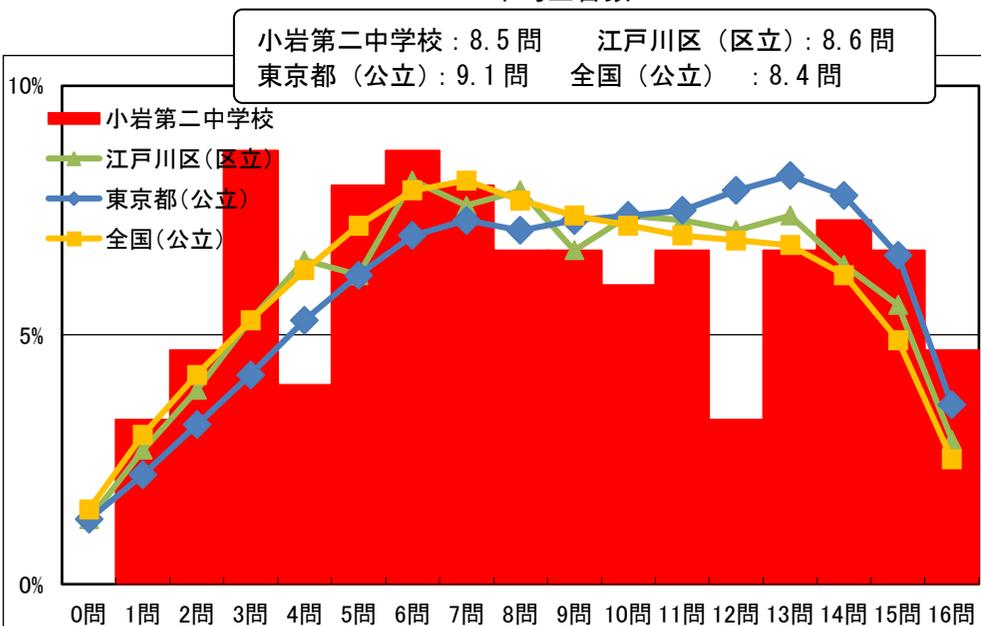


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 小岩第二中学校

正答数分布

平均正答数

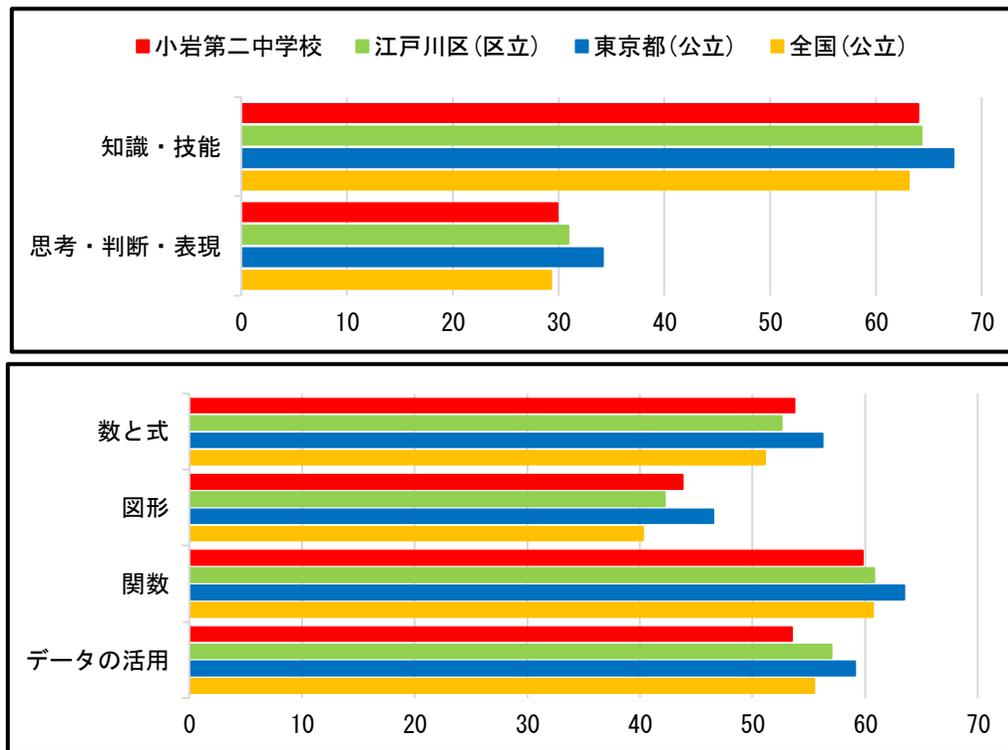


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 13~16 問	B層 9~12 問	C層 6~8 問	D層 0~5 問
小岩第二中学校	25.3	22.7	23.3	28.7
江戸川区 (区立)	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都 (公立)	26.2	30.1	21.4	22.3
全国 (公立)	20.4	28.5	23.7	27.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

小岩第二中学校	53%
江戸川区(区立)	54%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	52.5%
都との差	4ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

全国平均を上回ることができた。A層の割合が高いため、授業において積極的に発展問題を取り扱っていくことでその力を維持したい。一方で、D層の割合が1番高く、小テスト・再テスト・補習を引き続き高い頻度で実施していくことの必要性を強く感じる。少人数授業での演習量の確保や、提出物を細かくチェックすることも継続したい。